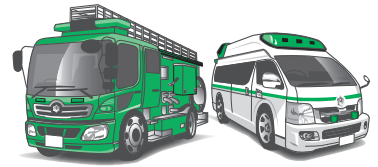


消防 だより



年末夜警を実施

平成29年12月29日、30日の両日に町消防団が年末夜警を実施しました。

29日には、町役場にて大橋町長、西濃県事務所長、村下県議会議長、養老警察署長並びに消防審議会長の激励を受け、町内を巡回しました。

この年末夜警は、毎年消防団員が地元を巡回し、火災予防の啓発に取り組みることにより、養老町で暮らしている皆さんが、災害なく新しい年を迎えていただくために実施しています。



低温発火火災

冬場は、空気が乾燥し火災が起きやすい季節です。そのため火の取り扱いには十分注意が必要です。

火災の中には、見えない所での火種が原因となる事もあります。おもにコンロ付近の壁が内部から発火する「低温発火」という現象です。

長い間、熱が加え続けられた木材の水分が蒸発・乾燥して炭化し、低い温度(百度程度)でも発火することがあります。

低温発火火災を起こさないためにも次のような対処をし、大切な家を守りましょう。

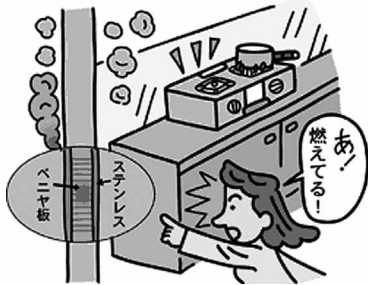
☆コンロと壁の距離を充分に取る。(15cm以上)

☆距離が取れない場合は防熱板を置く。

☆加熱する物の周辺に焦げ跡などがないか確認する。

☆コンロなどの周辺の壁に、ひび割れが無いか確認する。

こんろは壁から
15cm以上離すようにしましょう。



町民文芸

(敬称略)

◆まほろば短歌会

今を盛り野山の紅葉池に映え逆さ鏡に水面に揺るる
四十五日食べられなかつた引揚船チフスを越えて今日を生きていく
無人駅線路のむかうに柚子の実のたわにみのり葱も青青
今日一日友と語りて帰り路燃え尽きるがに夕日が赤し
ポケットの中で茶の実をカリカリと手にならしつつ散歩道ゆく
時去りて時来たりける変遷を受けとめてゐし桑名六華園
サッシ窓北風吹けど音もなし久しく聞かぬ虎落笛の音
改元の千三百年祭催しをテレビで拝見高齢の私
降る降ると言ひ霜ばかりの滝山に今朝は師走の本物の雪

村上やす子
竹田義秋
古川奈津
高木美代子
村上潔子
早川弘美
大橋奈美子
後藤久子
重金英男

◆小畑川句会

埋句
○○○○朝のかがやき○○○○
薄氷朝のかがやき輝やけり 恵美子 はらからに新米送る長電話 奈美子
冬紅葉朝のかがやき石畳 まさ子 山茶花の散りて狭庭のひろくなり 奈美子
秋晴や朝のかがやきそはそはと 紀年 竹林に狸出さうや嵯峨野駅 まさ子
伊吹山朝のかがやき初の雪 恭一 拾ふより捨て句の多し菊枯るる 紀年
たわなる朝のかがやきみかん畑 好 枯葉舞ふまつ赤を句帳に挟みけり 恭一
登校児朝のかがやき息白し 好 銀杏の落葉のつくる黄金道 恭一
去く年や朝のかがやき恙なく 千代子 海紅豆去りがたき里治水の碑 吉一
凍蝶の朝のかがやきまた飛べり 吉一 無住寺の一つの音に落椿 吉一
野菊叢朝のかがやき極みかな 吉一 木の葉舞ふ急くな鎮まれ轍跡 誠
夫婦旅朝のかがやき秋深し 誠 新米の炊ける匂ひに眼覚めけり 美恵子
山肌の朝のかがやき冬の虹 美恵子 短日の家路を急ぐランドセル 隆司
凜として朝のかがやき冬木立 隆司